▲園児たちによる踊りの発表

▲地域住民同士が協力し合って市民館まつりの準備を行いました

地域の話題

田原南部校区『祭り』で深まる地域の絆

各種行事を工夫して新しい住人との融和に取り組む 田原南部コミュニティ協議会からお便りが届きました。

田原南部コミュニティ協議会では、校区まちづくり推進計画の基本方針として

①安心して暮らせる地域
②住民の参加による活力ある地域
③子供から高齢者まで共生する地域
④緑豊かな自然を残す地域

をつくることを掲げています。

コミュニティの輪を広げるために

基本方針に沿って地域づくりを進める中で、「新規住民の受け入れ体制」が一つの課題・目標となっています。『グリーンタウン大久保』の宅地分譲が始まり（101区画）、新しく住民となった方々に、自治会活動の理解と協力をいただけるように取り組んでいます。

まずは新規住民に地域を知ってもらおうと、南部校区合同運動会・環境美化活動・大久保オープンゴルフ大会・夏まつり・高齢者慰問・敬老会、そして田原南部校区市民館まつりなどの行事へ、参加を呼びかけています。

今年も大いに盛り上がる！

こうした中、10月19日（土）に、「田原南部校区市民館まつり」を開催しました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、老若男女問わず多くの方が参加され、大変にぎやかなものとなりました。市民館2階の会場では、ステージで「カラオケのど自慢」や「ダンスパフォーマンス」などが披露され、観客から大きな拍手を浴びていました。素敵な発表をした参加者へ、おひねりが飛んだほか、ステージ上から観客の子どもたちへあめを配るなどしていました。

●作品展示コーナー

●満席のステージイベント

『祭り』を通じて地域づくり

今後も、各種行事により、住民の絆がより深まるよう、地域づくりに取り組んでいきます。

●市民館まつりの出店は子どもたちに人気